

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年11月14日

**【四半期会計期間】** 第37期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

**【会社名】** 株式会社タケエイ

**【英訳名】** TAKEEI CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 山口 仁 司

**【本店の所在の場所】** 東京都港区芝公園二丁目4番1号 A - 10階

**【電話番号】** 03-6361-6820

**【事務連絡者氏名】** 取締役専務執行役員 輿石 浩

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区芝公園二丁目4番1号 A - 10階

**【電話番号】** 03-6361-6820

**【事務連絡者氏名】** 取締役専務執行役員 輿石 浩

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第36期 第2四半期 連結累計期間	第37期 第2四半期 連結累計期間	第36期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (百万円)	7,912	10,596	17,456
経常利益 (百万円)	489	1,217	1,864
四半期(当期)純利益 (百万円)	191	704	870
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	225	711	945
純資産額 (百万円)	12,323	13,850	12,996
総資産額 (百万円)	30,190	33,332	31,091
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	31.31	113.78	141.90
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	30.59	111.01	138.87
自己資本比率 (%)	39.7	40.4	40.6
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	684	1,539	2,563
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	287	2,136	585
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	326	358	705
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)	3,915	4,162	5,118

回次	第36期 第2四半期 連結会計期間	第37期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	30.54	57.69

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動については、次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間において、株式の取得により、株式会社アースアプレイザルを持分法適用関連会社にしております。

また、その他の関係会社に該当していたジェイ エフ イー ホールディングス株式会社及びJFEエンジニアリング株式会社は、JFEエンジニアリング株式会社が保有する当社株式を売却したことにより、その他の関係会社ではなくなりました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間における、経営上の重要な契約等の決定又は締結等は次のとおりであります。

相手方の名称	主な契約内容	契約日
株式会社アースプレイザル	(資本業務提携) 当社が(株)アースプレイザルの株式を取得することに伴い、双方の経営資源を積極的に活用し、事業発展および事業価値の向上を図るための業務提携を実施するための契約	平成24年9月12日

また、平成22年5月28日に、JFEエンジニアリング株式会社とJFE環境株式会社との間で資本業務提携契約を締結すると同時にJFEエンジニアリング株式会社に対して第三者割当増資を実施(平成24年6月30日現在の議決権の被保有割合21.0%)いたしました。その後、JFEエンジニアリング株式会社において行われた、グループ資本効率の見直しのなかで、本件資本業務提携についても見直すこととなりました。その結果、資本提携がなくとも業務提携効果を継続、強化することに関して、両者ともに一切の支障はないとの判断にいたり、資本提携の部分について平成24年7月31日に解消いたしました。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）における当社グループの収益につきましては、株式会社タケエイにおいて東北地域における震災廃棄物処理事業の期間内における処理量が当初計画を上回るペースで進んだことや、連結子会社において、各社間それぞれの相乗効果が顕著に現れ始め、期初想定以上に好調に推移したこと等により、売上高は10,596百万円（前年同四半期比33.9%増）、営業利益は1,357百万円（前年同四半期比121.4%増）、経常利益は1,217百万円（前年同四半期比149.0%増）、四半期純利益は704百万円（前年同期比266.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

##### ㈱タケエイ

東北地域での震災廃棄物処理事業が計画を上回るペースで進捗し、当第2四半期連結累計期間における売上高は当初計画を上回りました。また、首都圏における既存事業も順調に進み、あわせて諸経費の低減に努めたことも奏功し、増収増益となりました。この結果、売上高は6,838百万円（前年同四半期比34.2%増）となり、セグメント利益は600百万円（前年同四半期比244.0%増）となりました。

##### ㈱リサイクル・ピア

東京都の災害廃棄物受入処理事業に昨年11月から積極的に取り組んでおり、期中においても、平成24年7月～9月分を追加で受注しました。この結果、売上高は1,794百万円（前年同四半期比32.1%増）となり、セグメント利益は253百万円（前年同四半期比266.8%増）となりました。

##### ㈱北陸環境サービス

ほぼ当初計画どおりに推移し、この結果、売上高は482百万円（前年同四半期比1.1%増）となり、セグメント利益は184百万円（前年同四半期比8.3%減）となりました。

##### ㈱ギプロ

社会的な『適正処理及びリサイクル率の向上』という強い追い風の中、当初計画を上回るペースで推移し、増収増益となりました。この結果、売上高は342百万円（前年同四半期比60.7%増）となり、セグメント利益は184百万円（前年同四半期比88.8%増）となりました。

##### ㈱池田商店

当初計画を上回るペースで推移し、この結果、売上高は391百万円（前年同四半期比13.5%増）となり、セグメント利益は156百万円（前年同四半期比11.3%増）となりました。

##### その他

「その他」セグメントの主要なものとして、諏訪重機運輸㈱・(有)野口木材起業につきましては、昨年のM & A以降、市場の開拓は順調に進んでおります。また、両社は、経営効率を高めることを目的に、平成24年7月1日付で合併いたしました。加えて、平成24年10月16日には、長野県安曇野市（旧東筑摩郡明科町）を中心に中信地域全域において事業を行なっている橋本建材興業(有)を子会社化し、さらなる営業エリアの拡大を図っています。この結果、売上高は746百万円（前年同四半期比76.1%増）となり、セグメント利益は72百万円（前年同四半期比162.2%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は33,332百万円（前連結会計年度末比7.2%増）となり、前連結会計年度末に比べ2,240百万円増加いたしました。流動資産は9,852百万円となり、126百万円減少いたしました。これは、受取手形及び売掛金が810百万円増加しましたが、現金及び預金が951百万円減少したこと等によります。固定資産は、23,116百万円となり、2,363百万円増加いたしました。これは、土地が1,554百万円、有形固定資産のその他のうちリース資産が1,054百万円増加したこと等によります。

負債合計は19,481百万円（前連結会計年度末比7.7%増）となり、前連結会計年度末に比べ1,386百万円増加いたしました。流動負債は9,557百万円となり、1,756百万円増加いたしました。これは買掛金が356百万円、短期借入金が316百万円、1年内返済予定の長期借入金が392百万円、その他のうちリース債務が787百万円増加したこと等によります。固定負債は9,924百万円となり、369百万円減少いたしました。これは、その他のうちリース債務が359百万円増加しましたが、長期借入金が645百万円、繰延税金負債が43百万円減少したこと等によります。

純資産は13,850百万円（前連結会計年度末比6.6%増）となり、前連結会計年度末に比べ853百万円増加いたしました。これは、資本剰余金が101百万円、利益剰余金が642百万円増加したこと等によります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、4,162百万円（前年同四半期比6.3%増）となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により資金は1,539百万円の増加（前年同四半期比124.9%増）となりました。これは、売上債権の増減額800百万円等の支出がありましたが、税金等調整前四半期純利益1,265百万円、減価償却費1,187百万円等の収入があったことによるものです。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により資金は2,136百万円の減少（前年同四半期比642.2%増）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出2,165百万円等によるものです。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により資金は358百万円の減少（前年同四半期比9.7%増）となりました。これは、長期借入れによる収入1,488百万円等がありましたが、長期借入金の返済による支出1,752百万円、社債の償還による支出70百万円等によるものです。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第2四半期連結累計期間に著しい変更があったものは、次のとおりであります。

新設

前連結会計年度末において計画中であった提出会社の巨理廃棄物処理事業用設備の新設については、平成24年5月に完了いたしました。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	14,880,000
計	14,880,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,542,000	6,542,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 であります。
計	6,542,000	6,542,000	-	-

- (注) 1 当社株式は平成24年7月31日付で、東京証券取引所マザーズから市場第一部に上場市場を変更いたしました。  
2 提出日現在発行数には、平成24年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日 (注)	20,000	6,542,000	8	4,158	8	4,102

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
藤本 武志	神奈川県横浜市鶴見区	657	10.05
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11-3	598	9.14
三本 守	神奈川県横浜市鶴見区	501	7.67
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	320	4.89
株式会社タケエイ	東京都港区芝公園2丁目4-1 A-10階	246	3.77
橋本 泰造	千葉県浦安市	182	2.79
タケエイ従業員持株会	東京都港区芝公園2丁目4-1 A-10階	121	1.86
野村信託銀行株式会社(投信 口)	東京都千代田区大手町2丁目2-2	118	1.82
金沢 和寿	東京都港区	111	1.71
ジャフコV2共有投資事業有限 責任組合無限責任組合員株式会 社ジャフコ	東京都千代田区大手町1丁目5-1	100	1.54
計		2,959	45.24

(注) 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本マスタートラスト信託銀行株式会社 598千株  
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 320千株  
野村信託銀行株式会社 118千株

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 246,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,294,200	62,942	-
単元未満株式	普通株式 900	-	-
発行済株式総数	6,542,000	-	-
総株主の議決権	-	62,942	-

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社タケエイ	東京都港区芝公園二丁目4 番1号 A-10階	246,900	-	246,900	3.77
計	-	246,900	-	246,900	3.77

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,581	4,630
受取手形及び売掛金	3,510	4,321
商品及び製品	4	4
仕掛品	36	42
原材料及び貯蔵品	268	248
繰延税金資産	224	198
未収入金	162	110
その他	200	304
貸倒引当金	10	8
流動資産合計	9,979	9,852
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,941	5,879
機械装置及び運搬具（純額）	2,485	2,466
最終処分場（純額）	2,049	1,911
土地	7,615	9,169
その他（純額）	756	1,900
有形固定資産合計	18,849	21,326
無形固定資産		
のれん	826	728
その他	48	41
無形固定資産合計	875	770
投資その他の資産		
投資有価証券	223	164
繰延税金資産	53	77
その他	789	806
貸倒引当金	37	27
投資その他の資産合計	1,028	1,019
固定資産合計	20,753	23,116
繰延資産	359	362
資産合計	31,091	33,332

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	588	945
短期借入金	1,305	1,622
1年内返済予定の長期借入金	3,480	3,873
1年内償還予定の社債	90	20
未払法人税等	737	529
その他	1,597	2,566
流動負債合計	7,800	9,557
固定負債		
社債	850	850
長期借入金	7,660	7,014
繰延税金負債	324	280
退職給付引当金	145	172
資産除去債務	405	409
その他	908	1,197
固定負債合計	10,294	9,924
負債合計	18,095	19,481
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,139	4,158
資本剰余金	4,303	4,404
利益剰余金	4,441	5,084
自己株式	307	207
株主資本合計	12,576	13,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53	13
その他の包括利益累計額合計	53	13
少数株主持分	366	395
純資産合計	12,996	13,850
負債純資産合計	31,091	33,332

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,912	10,596
売上原価	5,936	7,773
売上総利益	1,976	2,822
販売費及び一般管理費	1,363	1,465
営業利益	612	1,357
営業外収益		
受取利息	0	0
受取保険金	0	5
受取賃貸料	4	9
債務取崩益	5	3
助成金収入	8	-
持分法による投資利益	-	0
その他	18	19
営業外収益合計	38	38
営業外費用		
支払利息	130	125
持分法による投資損失	18	-
その他	13	52
営業外費用合計	162	178
経常利益	489	1,217
特別利益		
固定資産売却益	6	48
保険解約返戻金	31	-
その他	8	-
特別利益合計	46	48
特別損失		
固定資産売却損	-	0
減損損失	7	-
災害義援金	10	-
その他	0	-
特別損失合計	17	0
税金等調整前四半期純利益	517	1,265
法人税、住民税及び事業税	329	533
法人税等調整額	27	18
法人税等合計	301	514
少数株主損益調整前四半期純利益	216	751
少数株主利益	24	47
四半期純利益	191	704

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	216	751
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	9	39
その他の包括利益合計	9	39
四半期包括利益	225	711
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	201	664
少数株主に係る四半期包括利益	24	47

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	517	1,265
減価償却費	736	1,187
のれん償却額	98	97
貸倒引当金の増減額（は減少）	31	11
退職給付引当金の増減額（は減少）	19	27
受取利息及び受取配当金	2	2
支払利息	130	125
支払手数料	1	11
固定資産売却損益（は益）	6	48
売上債権の増減額（は増加）	27	800
たな卸資産の増減額（は増加）	3	12
仕入債務の増減額（は減少）	45	356
繰延資産の増減額（は増加）	68	3
未払金の増減額（は減少）	52	201
未払消費税等の増減額（は減少）	15	0
その他	375	12
小計	1,078	2,407
利息及び配当金の受取額	1	2
利息の支払額	135	129
法人税等の支払額	260	740
営業活動によるキャッシュ・フロー	684	1,539
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期貸付けによる支出	-	30
短期貸付金の回収による収入	0	7
定期預金の預入による支出	4	4
定期預金の払戻による収入	14	-
投資有価証券の取得による支出	2	2
投資有価証券の売却による収入	0	-
有形固定資産の取得による支出	334	2,165
有形固定資産の売却による収入	7	83
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	2	-
その他	32	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	287	2,136

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額（は減少）	117	316
長期借入れによる収入	1,378	1,488
長期借入金の返済による支出	1,543	1,752
長期未払金の返済による支出	45	57
社債の償還による支出	20	70
株式の発行による収入	9	38
自己株式の売却による収入	-	183
配当金の支払額	49	61
少数株主への配当金の支払額	14	17
その他	158	425
財務活動によるキャッシュ・フロー	326	358
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	69	955
現金及び現金同等物の期首残高	3,845	5,118
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 3,915	1 4,162

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
(持分法適用の範囲の重要な変更) 当第2四半期連結会計期間の末日より、新たに株式を取得した株式会社アースアプレイザル及びクマケン工業株式会社を持分法適用の範囲に含めております。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
役員報酬	164百万円	162百万円
給与手当	528百万円	584百万円
福利厚生費	103百万円	121百万円
退職給付費用	33百万円	31百万円
のれん償却額	98百万円	97百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
現金及び預金	4,382百万円	4,630百万円
預入期間3ヵ月超の定期預金	467百万円	467百万円
現金及び現金同等物	3,915百万円	4,162百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	49	8.00	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月31日 取締役会	普通株式	30	5.00	平成23年9月30日	平成23年12月12日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	61	10.00	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月30日 取締役会	普通株式	62	10.00	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成24年7月9日開催の取締役会において、第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議し、平成24年8月27日付で普通株式120,000株を処分しました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が82百万円増加、自己株式が100百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が4,404百万円、自己株式が207百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	(株)タケ エイ	(株)リサイ クル・ピ ア	(株)北陸環 境サービ ス	(株)ギプロ	(株)池田商 店	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,094	1,358	477	212	345	7,488	424	7,912
セグメント間の内部売上 高又は振替高	111	3	22	139	4	281	132	413
計	5,206	1,361	499	352	349	7,770	556	8,326
セグメント利益	174	69	201	97	140	683	27	711

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境保全(株)、泰武興運(株)、(株)タケエイパークゴルフマネジメント、(株)門前クリーンパーク、(株)グリーンアローズ関東及び諏訪重機運輸(株)を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	683
「その他」の区分の利益	27
セグメント間取引消去	15
のれんの償却額	98
その他の調整額	14
四半期連結損益計算書の営業利益	612

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	(株)タケエイ	(株)リサイクル・ピア	(株)北陸環境サービス	(株)ギブロ	(株)池田商店	計		
売上高								
外部顧客への売上高	6,838	1,794	482	342	391	9,849	746	10,596
セグメント間の内部売上高又は振替高	104	-	-	115	2	222	194	417
計	6,942	1,794	482	458	394	10,072	941	11,013
セグメント利益	600	253	184	184	156	1,379	72	1,452

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境保全(株)、諏訪重機運輸(株)、泰武興運(株)、(株)タケエイパークゴルフマネジメント、(有)野口木材起業、(株)門前クリーンパーク及び(株)グリーンアローズ関東を含んでおります。なお、諏訪重機運輸(株)は、平成24年7月1日付で(有)野口木材起業を吸収合併しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,379
「その他」の区分の利益	72
セグメント間取引消去	19
のれんの償却額	97
その他の調整額	17
四半期連結損益計算書の営業利益	1,357

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	31円31銭	113円78銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	191	704
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	191	704
普通株式の期中平均株式数(株)	6,131,338	6,187,874
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	30円59銭	111円01銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(株)	144,869	154,123
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

1. 株式会社東海テクノの株式取得

平成24年10月16日に、当社は株式会社東海テクノの株式を下記のとおり取得いたしました。

(1) 株式取得の理由

株式会社東海テクノは、三重県四日市市に本社を置き、三重県及び愛知県を中心とした東海・近畿地方において事業展開しており、水質・土壌・大気等の調査・分析業務を行っております。国際基準であるEPA法に基づくアスベスト測定や、分析技術の自動化・ロボット化による多量検体分析への対応など、当社子会社である環境保全株式会社の有していない機能を数多く保有しており、また、拠点・顧客の構成・売上の構成などの違いから、両社の機能を相互補完できるものと判断し取得いたしました。

(2) 株式取得の相手先の概要

会社商号 株式会社東海テクノ

主な事業内容 計量証明事業

主な事業所 本社 三重県四日市市午起二丁目4番18号

四日市分析センター 三重県四日市市午起一丁目2番15号

松阪分析センター 三重県松阪市若葉町92-1

資本金 50百万円

(3) 株式取得日 平成24年10月16日

(4) 取得株式数、取得価額及び取得後の持分比率

取得株式数 34,000株

取得価額 175百万円

取得後の持分比率 34.0%

2. 橋本建材興業有限会社の株式取得

平成24年10月16日に、当社子会社である諏訪重機運輸株式会社は、橋本建材興業有限会社の全株式を下記のとおり取得いたしました。

(1) 株式取得の理由

橋本建材興業有限会社は、長野県安曇野市を中心に中信地域全域において事業を行っており、主に建設現場で排出されるアスファルトやコンクリート等のがれき類を受け入れ、再生骨材・再生砕石に加工し、その再資源化品を土木工事及び建設工事用の資材として供給しております。諏訪重機運輸株式会社にとって、安曇野市、さらには中信地域の北部という新たな事業地域への進出となり、あわせて、北信越地域への中継地点となる物流拠点としての機能を果たすものと判断し取得いたしました。

(2) 株式取得の相手先の概要

会社商号 橋本建材興業有限会社

主な事業内容 再生骨材・再生砕石の生産・販売、砂利採取、浚渫事業

主な事業所 本社 長野県安曇野市明科七貴8910番地

資本金 10百万円

(3) 株式取得日 平成24年10月16日

(4) 取得株式数、取得価額及び取得後の持分比率

取得株式数 10,000株

取得価額 2百万円

取得後の持分比率 100.0%

## 2 【その他】

第37期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)中間配当について、平成24年10月30日開催の取締役会において、平成24年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	62百万円
1株当たりの金額	10円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成24年12月10日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月14日

株式会社タケエイ  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 伊藤 俊 哉

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 佐藤 和 充

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社タケエイの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社タケエイ及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。